



鄰人不和親和

大井川幸隆

開話句漫筆集稿

(43)

神話でやる。遠國の乙は

むでも大いに利益が受かる
とは信じない。遠國の方には

神話でやる。遠國の乙は
これも土産の鎮守の威徳を

認めない。甲の地の神を信
崇するのが世間人心の常で

ある。大聖の孔子もども
此の句は二條を褒めたのか

の老爺に言はせれば「近頃
孔子様々々々名を馳せると

云ふが、多分は著者の意を内
に含んだものと思ふ。さう

とすれば近所の大切な謂
いである。然し乍ら隨りが

必ずしも善悪などい限
られ。實際に於て鄰も同士

は大方不和か。さもなく
ば、鄰交の狀態が多い。鶴翁か
の句に、上の五字に忘れて
いたが、鄰りの利害をすこち
かとあるがこれなども、
隣人不和で思ひ出すのい
ふりが義理しづらうとした
言ひ草であらう。

隣りの利害をすこち

とおもふ

とあるがこれなども、
隣りの利害をすこち

とおもふ

「超過五萬圓」に行き詰つた平市の新豫算——市長吉沼さん果してこの離舞台をとう展開させらるか? いま悩みの樂屋裏とのぞいて見た

超過豫費増大の聲高く 迷ふ五萬圓の大削減

犠牲の親玉は工事費か

市十四年度歳出豫算は既編成の一般補給金の計上見

報の如くギリ一四十五萬合せによつて歳出とのバラ

六千餘圓を去月三十日郡山

市に開かれ、縣の豫算編成

市議會に上提出されたが縣議

局の方針は昨今の時局病十

三年度當初豫算四十二萬餘

圓の五年減即ち四十萬圓餘

を建前としてゐるので結局

理額より五萬圓超過とな

つたものだが、これすぐ消

耗品の勝貴や、小學校學級

等やむに止まれる最少限度

で今更削ることも出来ぬと

ころに編成お術の苦しさが

ひそむわけだ

市豫算額は町村と異

直接内務省に報告される

ので、縣の指示に達つた

爲めに生ずる再編成の場

合を懸念して極めてこの難

方針に副ふべくこれが慣れてゐる

重機討上すべてを小委員△土木、工商、第五小學校

會(田舎)にかけと至る

然らば「結局どう落着くか

とば市首腦部の觀方だが今年も愈々酒屋とつて一納めてホットする間もなく

若しさうなれば今度は歲入年中の最大受難季が近づい

度(昭和四十二萬圓)となる

の酒造稅納期を来る十六日

勘定なのでこの方に見越し

より始まり、月末迄に之を

縮少豫算のお蔭で

増体にも一寸暗い影

死闘を續くる最中 救援が來た嬉しき

市郡下廿六軒の當業者が

矢繼早に卅六萬圓の納稅

の如く、縣の指示もあ

る所の減少は免れま

すが何で鐵材が從來の

△水道、新設農田町内一

ヶ所の外殆ど鐵管埋換工

事だが何で鐵材が從來の

△勤業、殆ど前年度踏襲

△學務、第五小學校費の計

は除かれたが生徒增加、

よしとが生徒增加、

△社會、警防團活動資金を

△外環平商校舍修繕(一部

△勤業、第五小學校費の計

は除かれたが生徒增加、

△學務、第五小學校費の計

は除かれたが生徒增加、

△勤業、第五小學校費の計

は除かれたが生徒